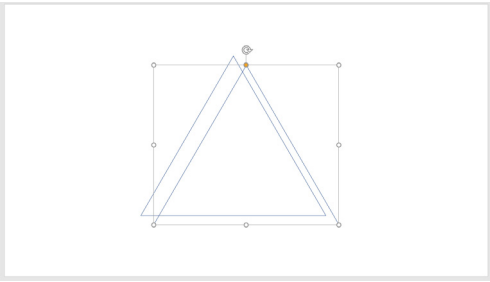
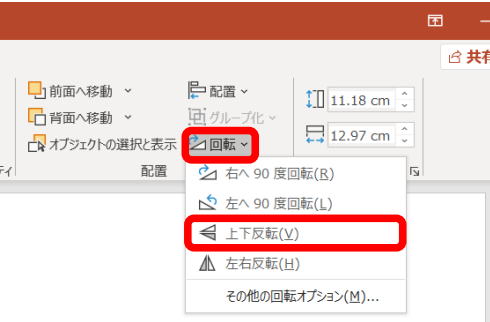
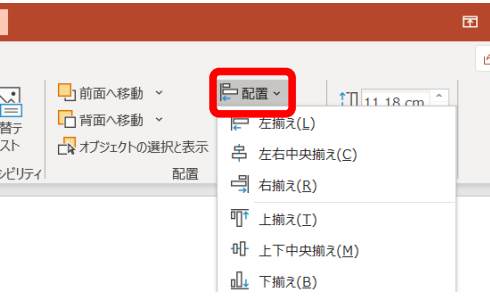
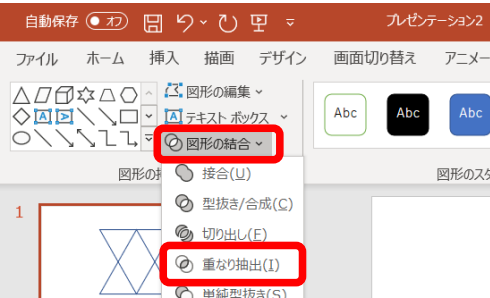
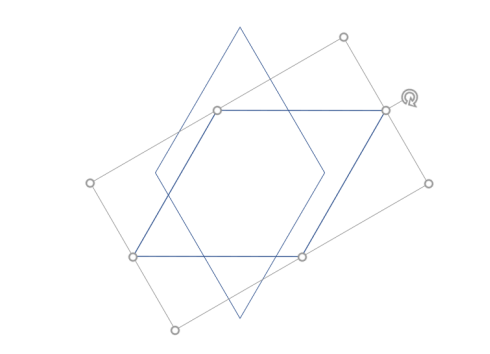
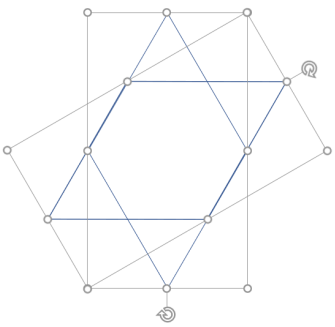
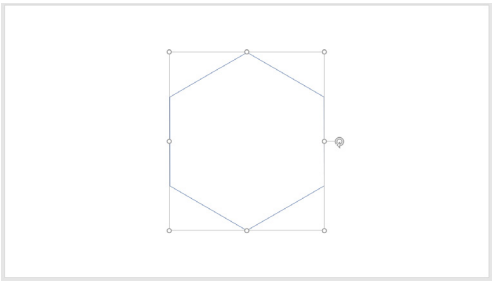

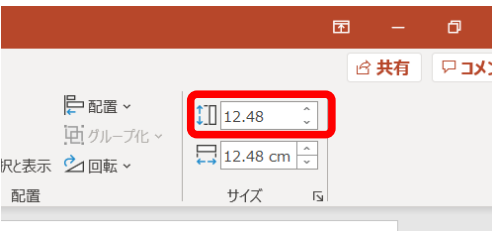
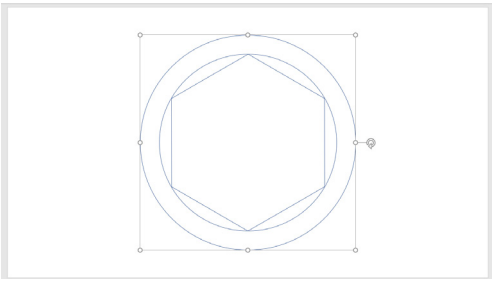
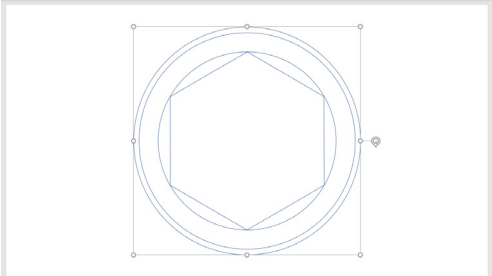
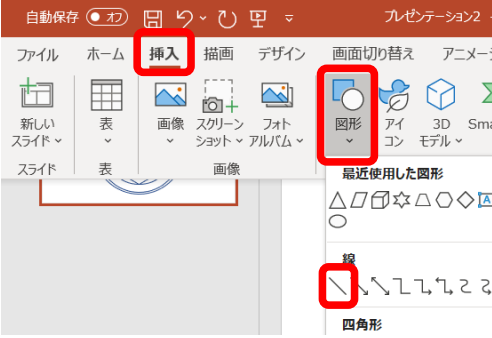
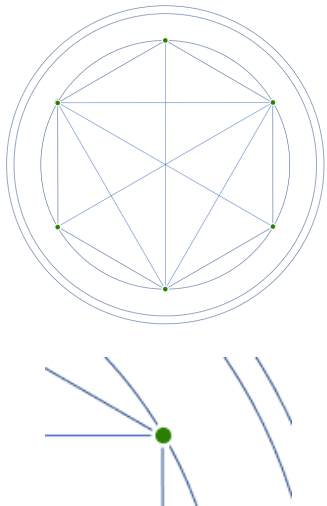
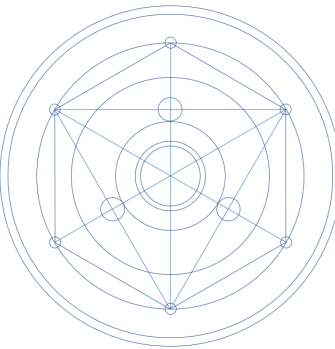
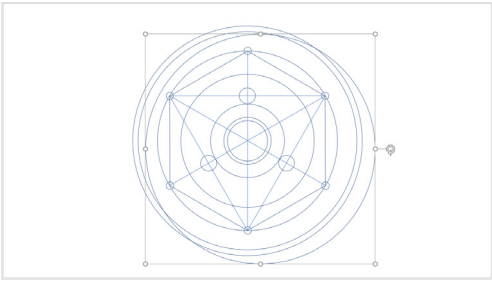


このマニュアルは PowerPoint Microsoft 365 バージョン 2003 で書かれています

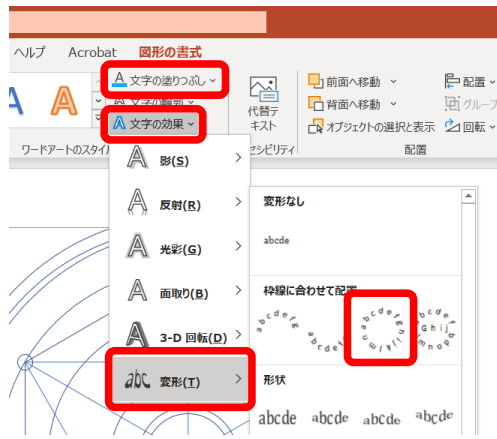
<p>1</p>		<p>「レイアウト」→「白紙」。</p>
<p>2</p>		<p>まず、正六角形を描きます。PowerPoint ではありません正六角形は描けないので、少し工夫します。</p> <p>「挿入」→「図形」→「二等辺三角形」。</p>
<p>3</p>		<p>「Shift」キーを押しながら、正三角形を描きます。</p>
<p>4</p>		<p>「図形の塗りつぶし」→「塗りつぶしなし」。</p>

5		<p>「Ctrl」 + 「D」 キーで複製。</p>
6		<p>「回転」 → 「上下反転」。</p>
7		<p>2つの三角形を選択して、 「配置」で「C」キー。 「配置」で「M」キー。</p> <p>左右中央と上下中央に揃えるのですが、この手順は何回も行うので、ショートカットキーが楽です。</p>
8		<p>「図形の結合」 → 「重なり抽出」。 菱形ができます。</p>
9		<p>「Ctrl」 + 「D」 キーで複製。 複製した菱形を「Shift」キーを押しながら、回転させ、図のようにします。</p>

10		<p>2つの菱形を選択して、 「配置」で「C」キー。 「配置」で「M」キー。</p>
11		<p>「図形の結合」→「重なり抽出」。 正六角形ができます。</p> <p>「Shift」キーを押しながら、図のように回転させ。 適当なサイズにし、スライドの中央へ。</p>
12		<p>「Ctrl」＋「D」キーで複製。 「図形の編集」→「図形の変更」→「楕円」。</p>
13		<p>「サイズ」の値を長い方の値に揃えて正円にします。 「配置」で「C」キー。 「配置」で「M」キー。</p>
14		<p>「Ctrl」＋「D」キーで正円を複製し、 サイズを「Shift」キーを押しながら図のように、 大きくして、 「配置」で「C」キー。 「配置」で「M」キー。</p>
15		<p>同じように、さらに外側に円を作りましょう。</p>

16		「挿入」→「図形」→「線」。
17		<p>六角形の中に線を描きます。  このとき、六角形の頂点に接続するように描きましょう。  接続すると、緑の●が線の端に現れます。</p>
18		図を参考に、他の円を複製して配置します。
19		<p>次は、文字の部分を作ります。  外側の円を選択し、「Ctrl」＋「D」キーで複製。</p>

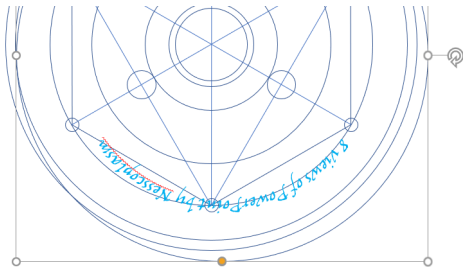
20



「文字の塗りつぶし」を白以外の色。

「文字の効果」→「変形」→「円」。

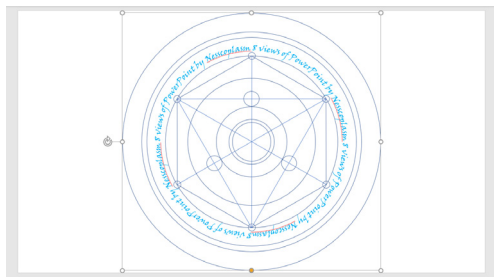
21



文字を適当なフォントで入力します。

円が選択された状態でキーボードを打てば、入力されます。

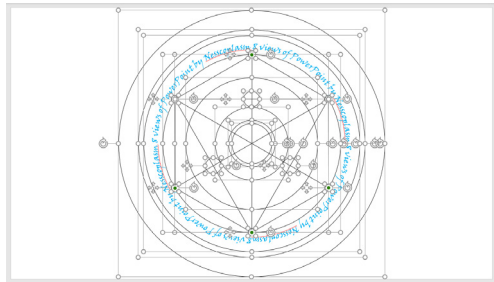
22



一周分、文字を入力したら、「Shift」キーを押しながら円のサイズを変えます。

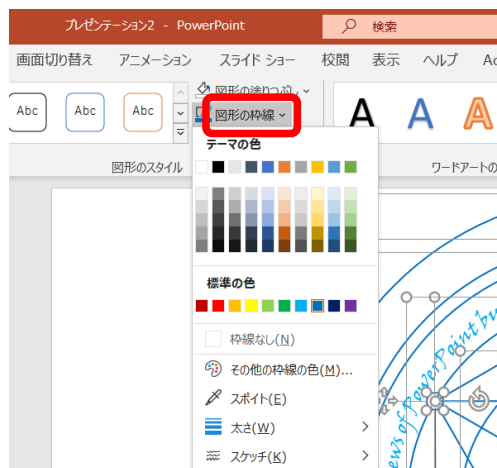
このとき、文字が左右反転してたら、「回転」→「左右反転」で戻しておきます。

23



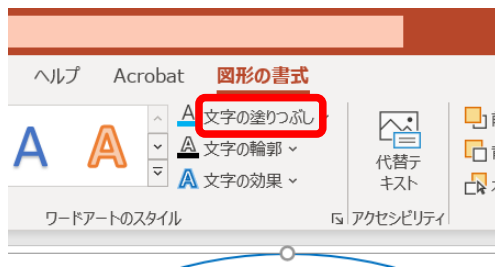
「Ctrl」+「A」キーで全て選択。

24



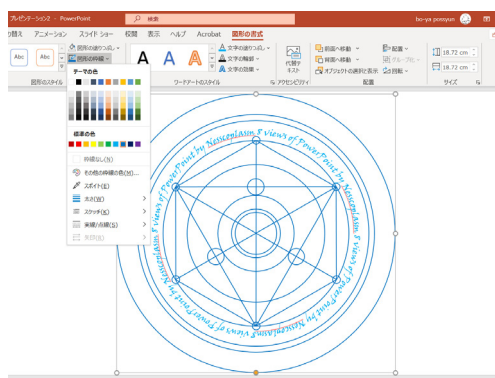
「図形の枠線」で、色や太さをお好みに。

25



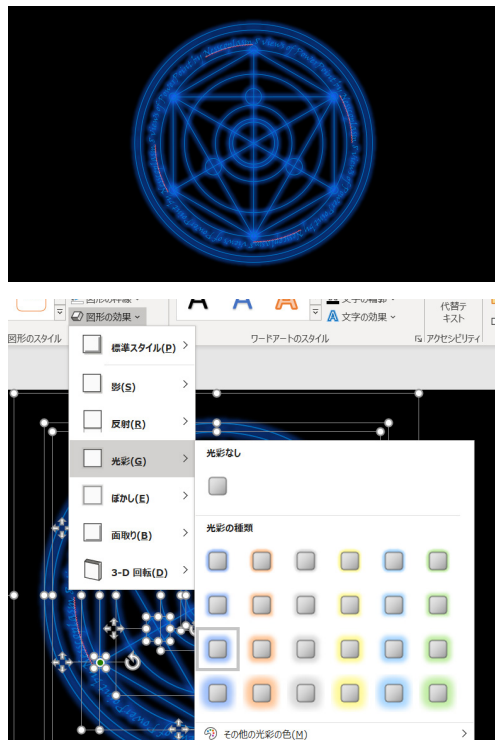
「文字の塗りつぶし」もお好みで。

26



最後に、文字を入力した円だけ選択して、「図形の枠線」→「枠線なし」で完成です。

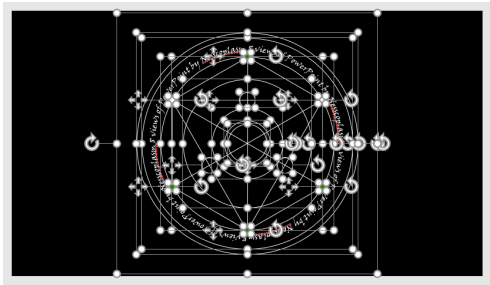
補  
足



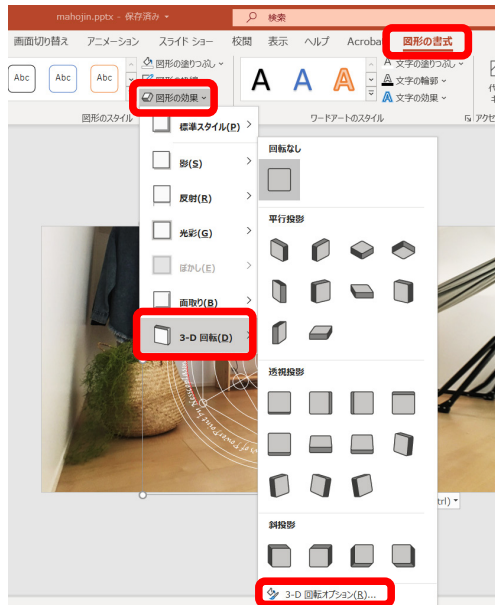
「図形の効果」→「光彩」で、光らすこともできます。



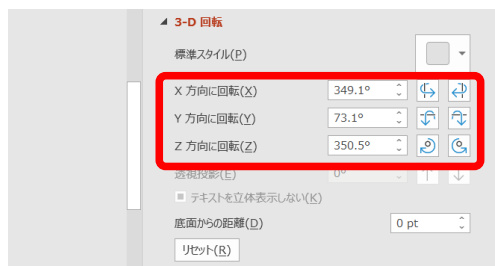
写真に合成することもできます。



「Ctrl」 + 「A」 キーで全ての図形を選択。  
「Ctrl」 + 「G」 キーでグループ化。



グループ化した図形を写真の上に貼り付け、  
「図形の書式」 → 「図の効果」 → 「3-D 回転」 →  
「3-D 回転オプション」。



XYZ の値を調整します。